

### 3-3 保健・衛生施設

#### I 保健施設

##### A. 施設概要

健康相談、健康教育及び健康増進指導、健康診査等の市民の健康維持と増進に関する業務を行うため、保健施設1施設を設置しています。

石川保健相談センターは、窓口、事務室、会議室の他、保健相談室や研修室、検診室、機能訓練室、調理実習室等が整備され、敷地面積は2,020㎡です。

##### ■主な業務内容

健康相談、健康教育及び健康増進指導、健康診査、その他

##### ■保健施設の一覧

No	施設名	施設構成	敷地面積
25	石川保健相談センター	窓口・事務室・機能訓練室・調理実習室・操体講義室・会議室・保健相談室兼研修室・集団検診室兼研修室・エントランスホール 等	2,020㎡

##### ■保健施設の位置図



## B. 建築物の状況

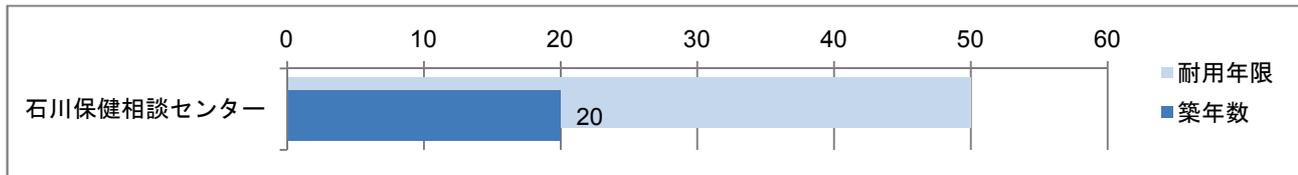
石川保健相談センターの建築年は平成5（1993）年であり、築後20年が経過し建物の耐用年限50年まであと30年となっています。

石川保健相談センターは、鉄筋コンクリート造2階建ての建築であり、堅牢かつ耐火性能に優れています。

### ■保健施設の建築年・規模・構造・建築面積・延床面積

施設名	建築年	建物規模	建物の構造	建築面積	延床面積
石川保健相談センター	平成5(1993)年	地上2階	鉄筋コンクリート造	1,140 m <sup>2</sup>	1,893 m <sup>2</sup>

### ■保健施設の築年数（年）



\*耐用年限は、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」を参考とし、事務所用の建物(50年)と想定しました。

石川保健相談センターは、昭和56(1981)年の建築基準法の改正後に建築された建築物であり、新耐震構造となっているため、特に耐震診断及び耐震補強の必要はありません。

バリアフリー化についてみると、市民が日常的に利用する施設であることから対応が進んでいます。

### ■保健施設の耐震状況・バリアフリー状況

施設名	耐震診断の有無	耐震補強の有無	バリアフリー化 (箇所)							視覚障害者誘導用ブロック
			出入口	廊下等	階段	エレベーター	トイレ	駐車場	アプローチ	
石川保健相談センター	—	—	○	○	○	○	○	×	○	×

### C. 管理運営の状況

石川保健相談センターは直営により健康支援課が管理しており、1階管理に関わる正規職員数は0.4人です。

#### ■保健施設の管理形態等

施設名	担当部署	管理形態	正規職員数(人)	利用時間	休所(館)日	開館日数(日)
石川保健相談センター	健康支援課	直営	0.4	1階 9:00~17:00	1階:土・日・祝日・年末年始	245

石川保健相談センターの1階利用者数は、平成23(2011)年度は9,610人であり、開館日数が245日であるため、1日当たりの利用者数は平均39人/日となります。

#### ■保健施設の年間利用者数の推移(人)

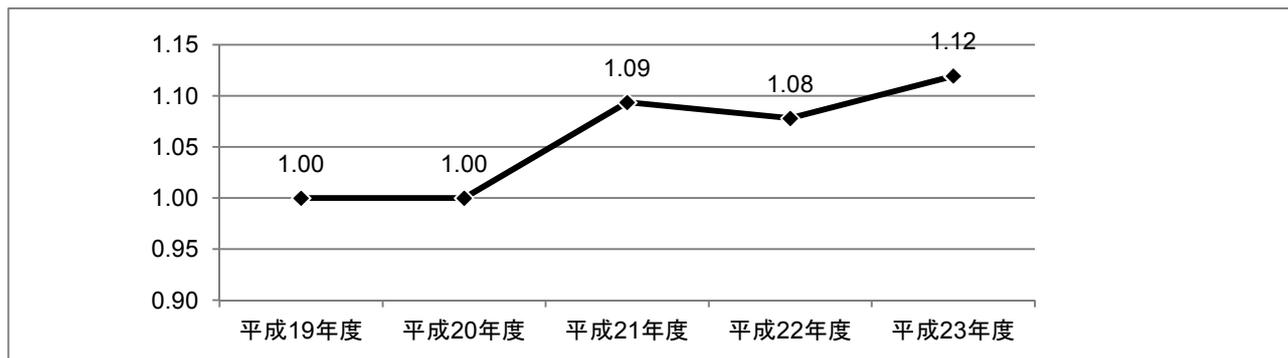
施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
石川保健相談センター	-	-	-	-	1階 9,610

石川保健相談センターの平成23(2011)年度の1階部分の年間管理運営経費(光熱費はガス料金のみ含む)は3,583千円であり、平成19(2007)年度から約10%の増加となっています。平成23(2011)年度の1階利用者一人当たりの年間管理運営経費をみると、373円/人となっています。

#### ■保健施設の年間管理運営経費の推移(千円)

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
石川保健相談センター	3,200	3,200	3,500	3,450	3,583

#### ■保健施設の年間管理運営経費の推移(平成19(2007)年度の年間管理運営経費を1.00とした場合)



## II 衛生施設

### A. 施設概要

廃棄物の処理や清掃に関する業務を行うため、衛生施設5施設を設置しています。

各衛生施設は、設置目的に応じた処理施設が整備されており、敷地面積は中部北環境施設組合ごみ溶融施設及びリサイクルプラザが 36,260 m<sup>2</sup>、中部衛生施設組合し尿処理場が 27,288 m<sup>2</sup>などとなっています。

#### ■衛生施設の一覧

No	施設名	施設構成	主な業務内容	敷地面積
26	中部北環境施設組合ごみ溶融施設	ごみ処理施設	可燃ごみ処理	36,260 m <sup>2</sup>
27	中部北環境施設組合リサイクルプラザ	ごみ処理施設	不燃、資源ごみ処理	上記と同一敷地
28	中部衛生施設組合し尿処理場	し尿処理施設	し尿・浄化槽汚泥処理	27,288 m <sup>2</sup>
29	浸出水処理施設	浸出水処理施設	旧具志川最終処分跡地から発生する浸出水を処理する施設。処理した水を一般廃棄物処理施設（北環）で再利用している。	826 m <sup>2</sup>
30	勝連町へい獣処理施設【閉鎖】	—	—	292 m <sup>2</sup>

#### ■衛生施設の位置図



## B. 建築物の状況

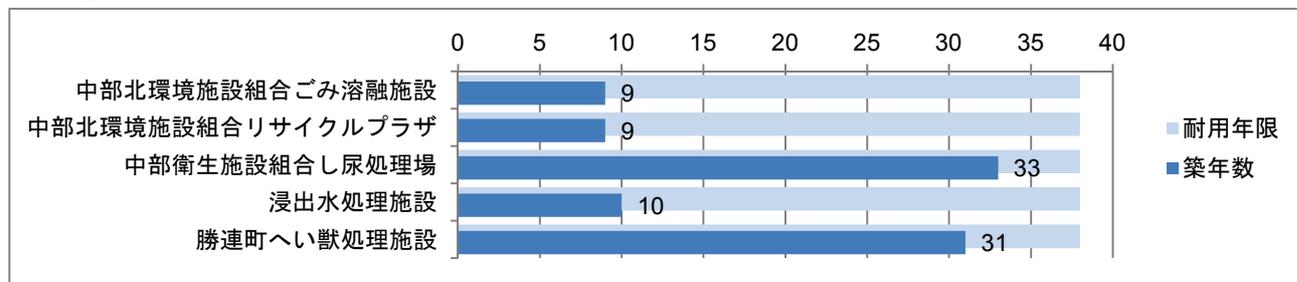
衛生施設のうち建築年が最も古いのは、昭和 55(1980)年に建築した中部衛生施設組合し尿処理場であり、築後 33 年が経過し建物の耐用年限 38 年まであと 5 年となっています。

衛生施設のうち、中部北環境施設組合ごみ溶融施設及びリサイクルプラザは、鉄骨鉄筋コンクリート造、その他の施設はいずれも鉄筋コンクリート造建築で、堅牢かつ耐火性能に優れています。

### ■衛生施設の建築年・規模・構造・建築面積・延床面積

施設名	建築年	建物規模	建物の構造	建築面積	延床面積
中部北環境施設組合ごみ溶融施設	平成 16(2004)年	地上 4 階 地下 1 階	鉄骨鉄筋コンクリート造	5,075 m <sup>2</sup>	10,123 m <sup>2</sup>
中部北環境施設組合リサイクルプラザ	平成 16(2004)年	地上 3 階	鉄骨鉄筋コンクリート造	2,457 m <sup>2</sup>	4,074 m <sup>2</sup>
中部衛生施設組合し尿処理場	昭和 55(1980)年	地上 2 階 地下 1 階	鉄筋コンクリート造	2,839 m <sup>2</sup>	2,346 m <sup>2</sup>
浸出水処理施設	平成 15(2003)年	地上 2 階	鉄筋コンクリート造	241 m <sup>2</sup>	297 m <sup>2</sup>
勝連町へい獣処理施設【閉鎖】	昭和 57(1982)年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>

### ■衛生施設の築年数（年）



\*耐用年限は、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」を参考とした。いずれも工場用の建物のうち、その他のもの（38年）とみなしました。

中部衛生施設組合し尿処理場は、昭和 56(1981)年の建築基準法の改正前に建築された建築物であり、旧耐震基準で建てられていますが、耐震診断、耐震補強ともに未実施となっています。その他の衛生施設は、いずれも新耐震構造となっているため、特に耐震診断及び耐震補強の必要はありません。

バリアフリー化についてみると、勝連町へい獣処理施設を除く施設では、出入口や階段、廊下等の基本的な部分で対応が進んでいます。

中部衛生施設組合し尿処理場では、平成 20(2008)年～23(2011)年に設備改修事業が実施され、他の 4 施設では、これまで外壁、屋根、設備等の大規模な改修工事は行われていません。

### ■衛生施設の耐震状況・バリアフリー状況

施設名	耐震診断の有無	耐震補強の有無	バリアフリー化（箇所）							視覚障害者誘導用ブロック
			出入口	廊下等	階段	エレベーター	トイレ	駐車場	アプローチ	
中部北環境施設組合ごみ溶融施設	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
中部北環境施設組合リサイクルプラザ	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
中部衛生施設組合し尿処理場	未実施	未実施	×	○	○	—	×	○	○	—
浸出水処理施設	適合	不要	○	○	○	—	○	○	○	—
勝連町へい獣処理施設【閉鎖】	—	—	—	×	×	×	×	○	×	×

### C. 管理運営の状況

中部北環境施設組合の2施設と中部衛生施設組合の1施設はいずれも委託管理となっています。浸出水処理施設が直営により環境課が管理しており、一施設当たりの管理に関わる正規職員は0.1人です。なお、勝連町へい獣処理施設は平成17年3月に閉鎖しています。

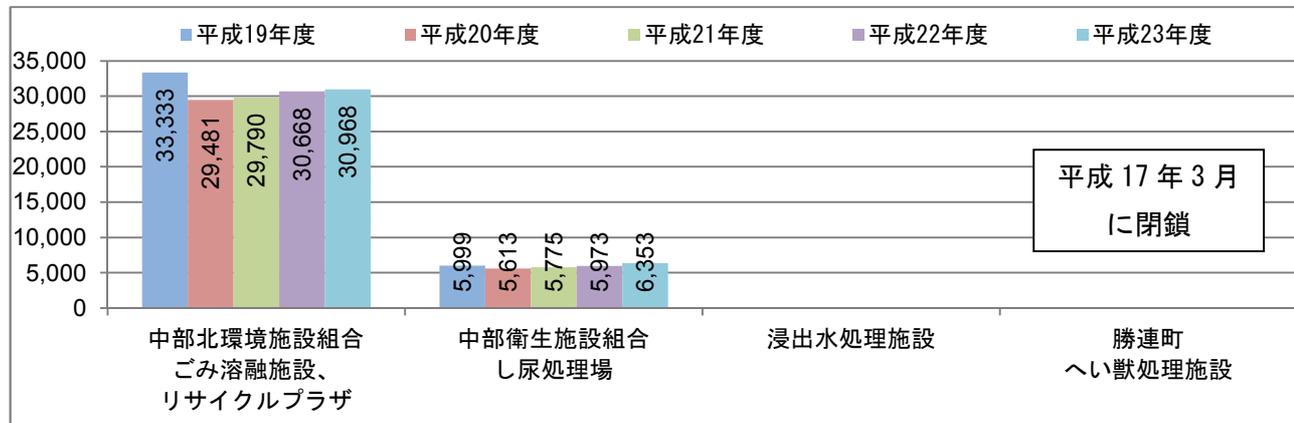
#### ■衛生施設の管理形態等

施設名	担当部署	管理形態	正規職員数(人)	利用時間	休所(館)日	開館日数(日)
中部北環境施設組合 ごみ溶融施設	中部北環境施設組合	委託管理	0	8:00~17:00	日曜日・年始(1月1日~3日)	309
中部北環境施設組合 リサイクルプラザ	中部北環境施設組合	委託管理	0	8:00~17:00	日曜日・年始(1月1日~3日)	309
中部衛生施設組合 し尿処理場	中部衛生施設組合	委託管理	0	8:30~17:00	日曜日・年末年始	310
浸出水処理施設	環境課	直営	0.1	8:30~17:15	土・日・祝日・慰霊の日・ 年末年始	243
勝連町へい獣 処理施設【閉鎖】	環境課	直営	—		平成17年3月閉鎖	—

平成23(2011)年度の衛生施設の利用者数は、中部北環境施設組合の2施設は30,968台であり、開館日数が309日であるため、1日当たりの利用者数は平均100台/日となります。

中部衛生施設組合し尿処理場は6,353台であり、開館日数が310日であるため、1日当たりの利用者数は平均20台/日となります。

#### ■衛生施設の年間利用者数の推移(台)



\* 中部北環境施設組合ごみ溶融施設、リサイクルプラザの利用者数は、ごみ運搬車両の搬入台数としています。

\* 中部衛生施設組合し尿処理場の利用者数は、2トン車両の搬入台数としています。

衛生施設の年間管理運営経費は、中部北環境施設組合ごみ溶融施設及びリサイクルプラザが1,300,000千円前後でほぼ横ばいで推移しており、中部衛生施設組合し尿処理場は80,000千円前後で、わずかながら減少傾向となっています。浸出水処理施設は9,000千円強で横ばいに推移しています。

■衛生施設の年間管理運営経費の推移（千円）

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
中部北環境施設組合 ごみ溶融施設 及びリサイクルプラザ	0	1,244,418	1,359,716	1,261,333	1,260,803
中部衛生施設組合し尿処理場	0	85,709	80,189	79,856	76,822
浸出水処理施設	800	9,616	9,157	9,087	9,328
勝連町へい獣処理施設【閉鎖】	-	-	-	-	-

■衛生施設の年間管理運営経費の推移（平成20(2008)年度の年間管理運営経費を1.00とした場合）

